

MAXHUB

All in One Meeting Board

V6 CFシリーズ

取扱説明書

ITで働き方改革を支援する

NIMO

ナイスモバイル株式会社



ホーム画面

本体の電源



■ 電源オン

電源コードをコンセントに挿した状態で主電源のスイッチをオン“—”にして、本機電源を**1回**押す。

■ 電源オフ

本機電源を**長押し**して、「システムをシャットダウンしますか？」のメッセージが出たら、「OK」を押す。

画面が暗くなったら主電源のスイッチをオフ“○”にする。

※電源がONの状態で主電源を切ると故障の原因となる可能性があるのでご注意ください。

ホーム画面（クラシックモード）



ホーム画面（コラボレーションモード）



GoogleやOutlookのカレンダーと連携して、今後の会議予定を表示。
ワンクリックで会議に参加。

画面に表示されたQRコードを読み込み、会議URLを送信。
WEB会議アプリが自動で起動し、簡単に会議に参加。

ホーム画面（3つのオリジナルアプリ/ホーム画面のカスタマイズ）

3つのオリジナルアプリ



- ① **ホワイトボード機能 (P13~)**
指や付属のタッチペンで自由に書き込めます。
- ② **プレゼンテーション機能 (P22~)**
資料やデバイスの画面を簡単に投影。
- ③ **WEB会議機能 (P30~)**
ZoomやTeamsなど、あらゆるWEB会議アプリに対応。

ホーム画面のカスタマイズ



- ホーム画面上で背景を**長押し**すると、以下の変更が可能になります。
- **表示するアプリ**
(Windowsデスクトップにあるショートカットアプリも選択可能)
 - **壁紙**
 - **テンプレート (クラシックモードorコラボレーションモード)**

サイドバー



ホーム画面両端のマークから
サイドバーを表示



- ① ホーム画面を表示
- ② ひとつ前の操作に戻る
- ③ 最大4つのアプリを画面上に分割して表示 (⇒P8)
- ④ タイマーを起動 (⇒P8)
- ⑤ ミーティングボード本体画面に書き込み (⇒P9)
- ⑥ カメラを起動
- ⑦ 投票 (⇒P10)
- ⑧ スクリーンショットを撮影 (⇒P10)

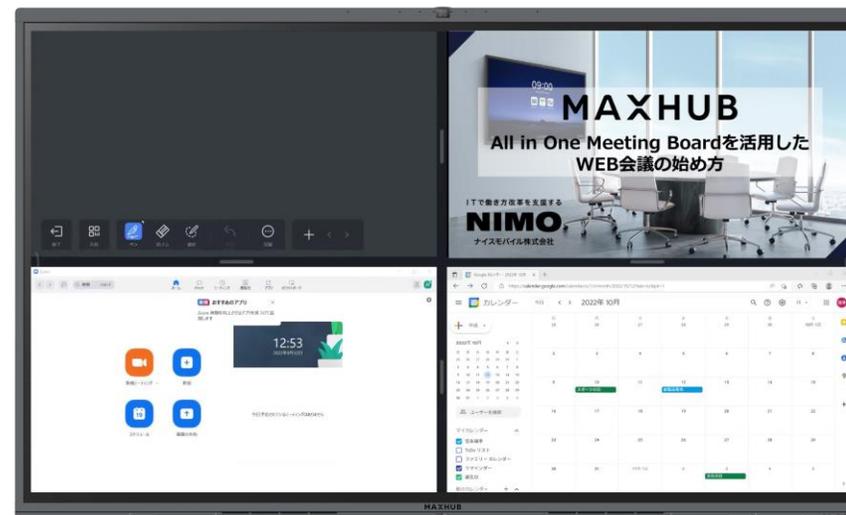
- ⑨ 明るさの調節
- ⑩ 音量の調節
- ⑪ キーボードを表示
- ⑫ 設定画面を開く
- ⑬ 表示されている画面と音声を録画録音
- ⑭ バックグラウンドで開いているアプリケーションを表示

サイドバー（メニュー詳細）

③画面分割

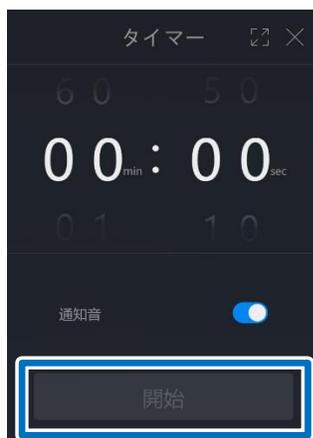


起動しているアプリが表示されるので、
分割表示するアプリを選択し、【完了】



最大4つのアプリを画面上で分割表示

④タイマー



計測したい時間を設定し
【開始】を押すと
カウントダウンが始まります。

通知音を【オン】にすると、
残り時間の3秒前から
音を鳴らします。



タイムアウト後も経過時間を計測します。

サイドバー（メニュー詳細）

⑤ アノテーション



ペンモード
ペンの色を選択して
画面に書き込み

消しゴムモード
書き込んだものを消去



共有
書き込んだ画面を保存



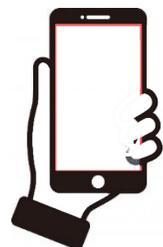
画面に映し出したWEBサイト画面や
同時投影した複数のデバイス画面にも書き込みが可能

サイドバー（メニュー詳細）

⑦投票



投票する項目を設定し、QRコードを生成



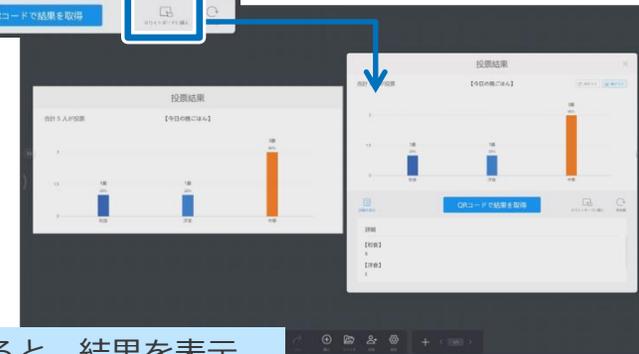
スマートフォンなどで読み取り、投票



【投票結果を表示】を選択すると、結果を表示



【ホワイトボードに挿入】を選択すると、投票結果をホワイトボードへ挿入できます。
※結果の表示は円グラフと棒グラフの選択が可能



ホワイトボード

⑧スクリーンショット



- × ... スクリーンショット機能を終了
- 📐 ... 選択範囲を全画面に拡大
- 📷 ... スクリーンショットを撮影→ホワイトボードへ挿入
- 📄 ... スクリーンショットをミーティングボード本体へ保存

ホーム画面



左にスワイプ

スクリーンシェア画面



スマートフォンの場合：

QRコードを読み取り、アプリをダウンロードします。
スマートフォンを本機のホットスポットもしくは本機
と同一ネットワークに接続後、アプリを起動。本機画
面に表示されている**接続コード**を入力し、スマート
フォンの画面を投影できます。

PCの場合：

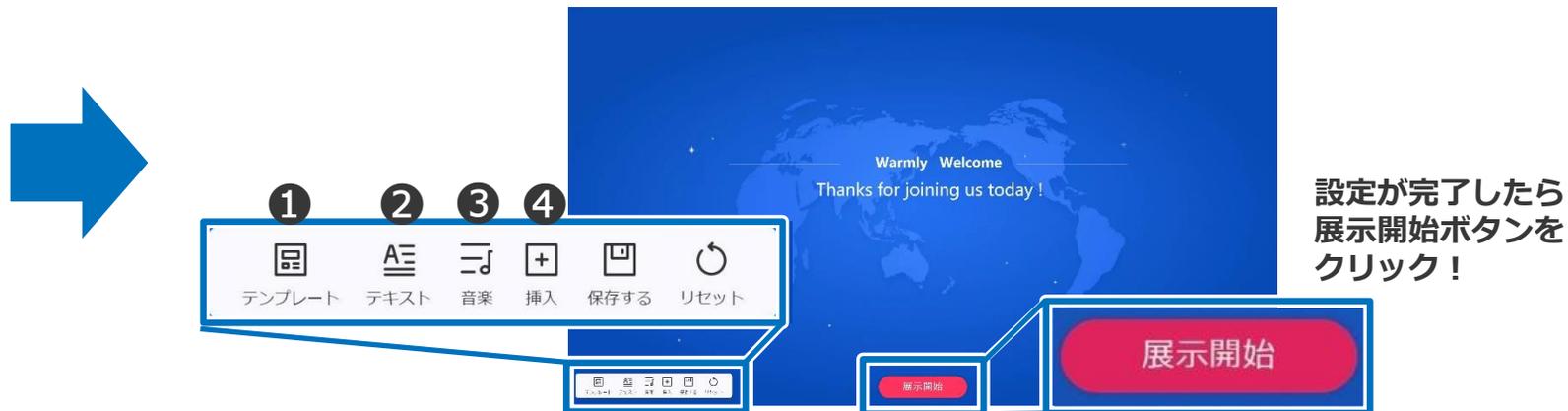
本機に表示される案内に従って、アプリをダウンロ
ードします。
PCを本機のホットスポットもしくは本機と同一ネット
ワークに接続後、アプリを起動。本機画面に表示され
ている**接続コード**を入力し、PCの画面を投影できます。

ウェルカムボード機能

ホーム画面



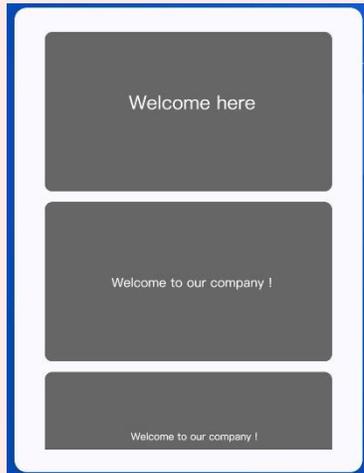
サイネージ画面



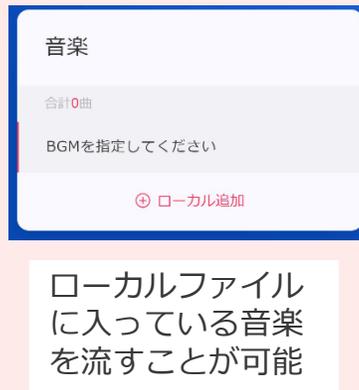
① テンプレート



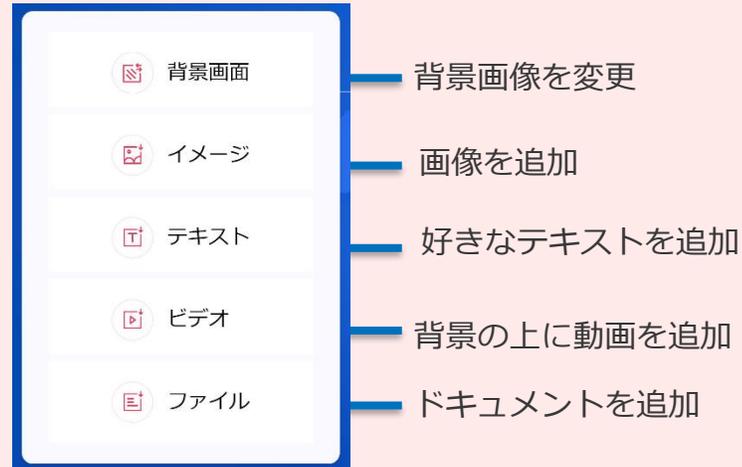
② テキスト



③ 音楽



④ 挿入



オリジナルアプリ ①ホワイトボード機能

①ホワイトボード機能



ホーム画面の「ホワイトボード」アイコンをクリックして立ち上げ

コード: M8GPXY

①ペンモード
②消しゴムモード
③選択モード
④挿入モード
⑤ファイル挿入
⑥ホワイトボード共有
⑦設定
⑧ページ操作
⑨保存

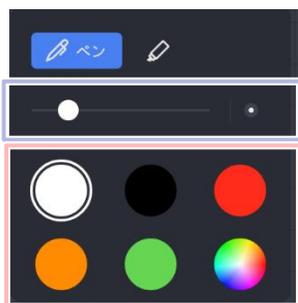
ホワイトボードを終了

元に戻す やり直し

終了 保存 ペン 消しゴム 選択 戻る 進む 挿入 ファイル 共有 設定

①ホワイトボード機能

①ペンモード



ペンorマークペンを選択し、太さや色を変更



- タッチペンの他、指でも書けます
- ペンの細い方向同士だと同時に書けます



太い/細いペン先でそれぞれの色/太さを選択すると、1本で2色使いが可能！

2色モードを使用するには…

【設定】>【書き込みの設定】>【2色モード】をオン

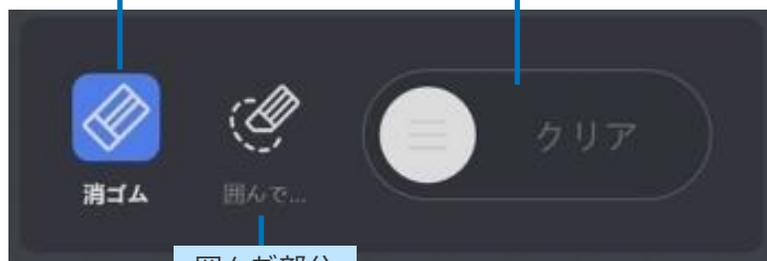


②消しゴムモード



消しゴムの大きさを選択して、ペンや手のひらを使って部分消去

全消去



困んだ部分を消去

③選択モード



選択部分の移動、縮小拡大、コピー、削除が可能

①ホワイトボード機能

④挿入モード



① テーブル

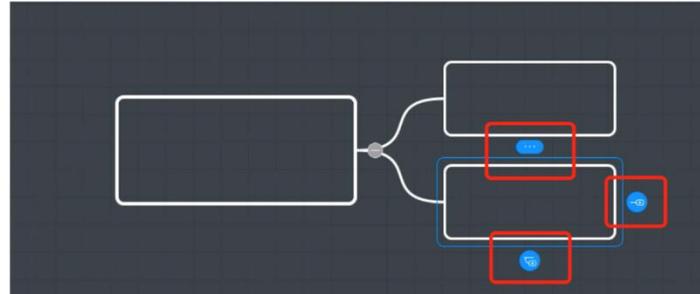
② マインドマップ

③ メモ

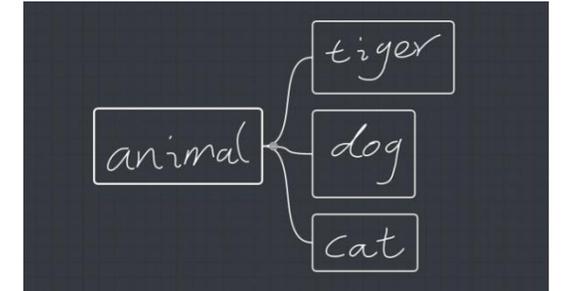
④ 図形



②マインドマップの挿入



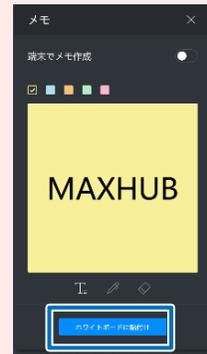
白枠をタッチすると青いボタンが出現し、分岐の追加や削除が可能



文字を記入すると、自動で枠の大きさを補正

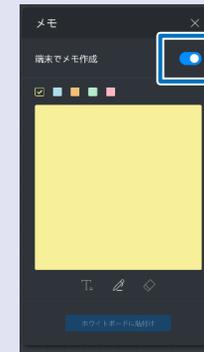
③メモ

ホワイトボード上で作成



テキスト入力か、
ペンで書き込み
【ホワイトボードに貼付け】

スマートフォンなどで作成



【端末でメモ作成】をオンにして、表示されたQRコードをスマートフォンなどで読み込み。

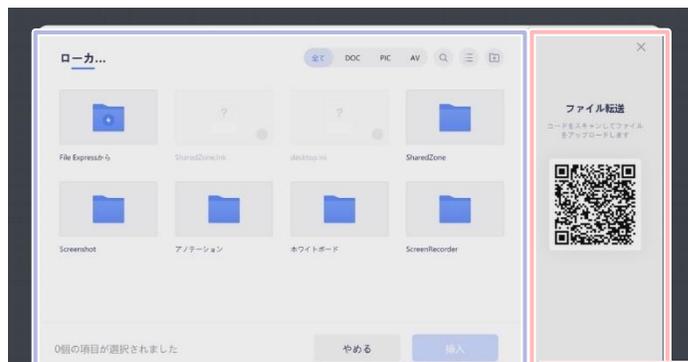


メモを入力後
ホワイトボードへ送信

スマートフォン画面

①ホワイトボード機能

⑤ファイル挿入



本機に保存されているファイル

スマートフォンなどから
ファイル転送



ファイルの種類を選択し、送信したいファイルを選択するとミーティングボードへ転送完了

⑥ホワイトボード共有

※最大4台まで接続可能



共有グループを作成したい場合

【作成】をクリックし、
ルームを作成

共有グループに参加する
ユーザーに共有コードを共有



共有グループに参加する場合

【参加】をクリックし、
共有コードを入力



①ホワイトボード機能

⑦設定



- ① **ペンの設定**
筆ペンモード
マルチライティング
2色モード
- ② **補正機能**
スマートモード
テキスト認識
- ③ **QRコード保存設定**
クラウドサーバー経由
LAN経由
- ④ **背景**
ホワイトボードの背景を変更

②補正機能



設定 > 補正機能を選択

【スマートモード】ONで図形を自動補正します。

【テキスト認識】ONで手書きの文字を自動でテキストに変換

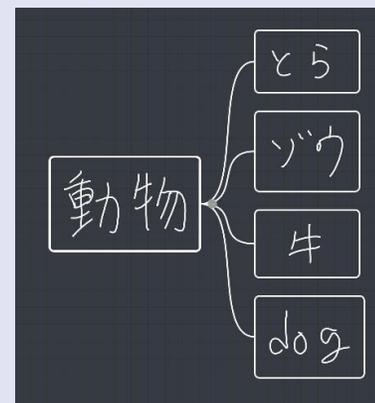
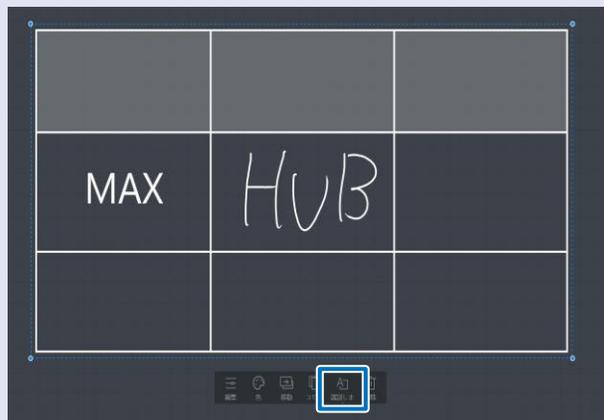
表・マインドマップは手書きで書き込んでからテキストに変換可能。

【選択】モードで表やマインドマップを選択

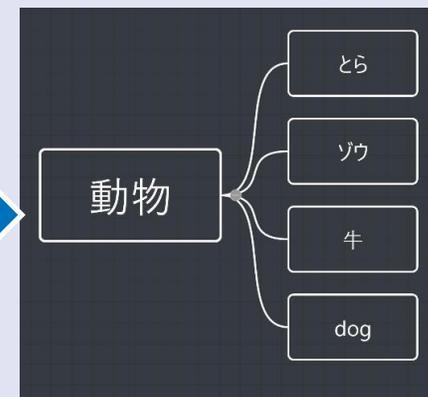


表

【識別】を選択して、手書きの文字をテキストに変換



マインドマップ



①ホワイトボード機能

④背景



ホワイトボードの背景の色を変更

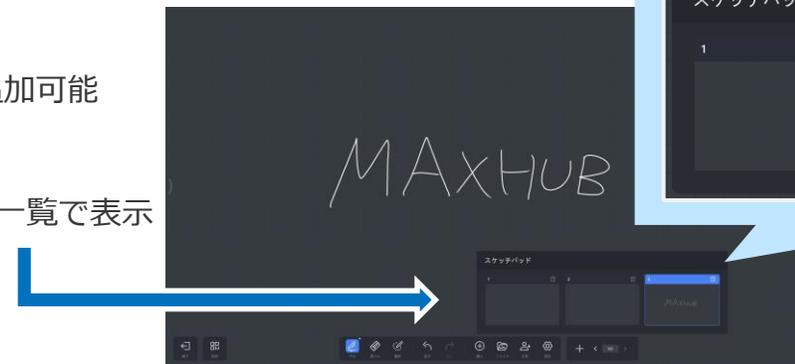
グリッドの変更、または本体に保存されている画像ファイルを背景に設定可能

⑧ページ操作



1 ページ追加
20ページまで追加可能

2 書いたページを一覧で表示



ゴミ箱ボタンでいらないページを削除

①ホワイトボード機能

⑨保存

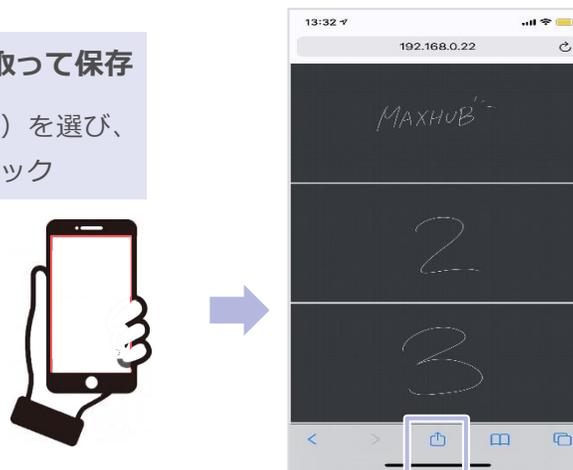


1. QRコードを読み取って保存
2. 本体へ保存
3. USBメモリへ保存
4. メール送信
5. 印刷



2. 本体へ保存
保存形式 (MHB, PDF, JPEG) を選び、
【本機へ保存】をクリック

※「MHB」はMAXHUBのホワイトボード独自の拡張子です。
「MHB」形式で保存すると、続きから編集することが可能です。
(ミーティングボードでファイルを開いた場合のみ)



※事前に保存の設定をします。



クラウドサーバー経由...
保存先の端末が本機と同一ネットワークに接続していなくてもデータの保存が可能。
(保存形式: JPEG)

LANモード...
保存先の端末を本機のホットスポットもしくは本機と同一ネットワークに接続して保存
(保存形式: PDF)

設定 > QRコード保存設定 > クラウドサーバー経由 or LAN経由

①ホワイトボード機能

⑨保存



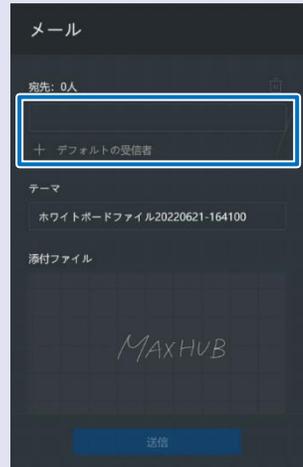
3.USBメモリへ保存

保存形式 (MHB,PDF,JPEG) と保存先 (USBメモリ) を選び、
【保存】をクリック

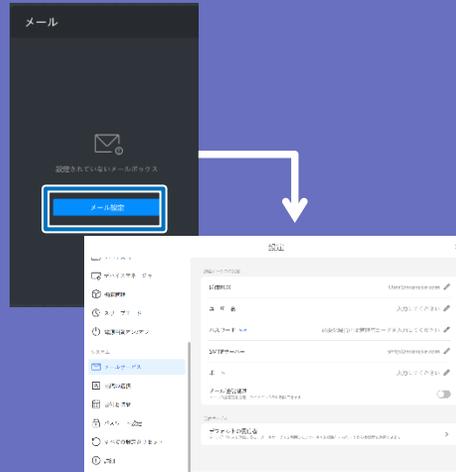
※ミーティングボード前面のポートにUSBメモリを接続すると、保存先にUSBが表示される

4.メール

送信したいアドレスを入力して送信



※メールが設定されていない場合



メール設定> 送信元のアドレスを設定

5.印刷

印刷したいページを選択し、
送信ボタンをクリック



※プリンタードライバーの
インストールが必要です。

オリジナルアプリ ②プレゼンテーション機能

②プレゼンテーション機能

■ 本機のファイルのデータを表示



■ PC画面を投影～ワイヤレスドングル ペアリング～



②プレゼンテーション機能

■ PC画面を投影～ワイヤレスドングル（Windows）～

付属のtype-A変換器を接続した場合は、1回目に下記のインストール作業が必要になります。type-Cのポートで接続した場合は、インストール作業不要です。※PCによってはtype-Cでもインストール作業が必要な場合もあります。



PCにワイヤレスドングルを接続



PC右下“CDドライブ”の通知を選択



CDドライブの中“MAXHUB.exe”を実行



“画面共有できます”の画面になったらワイヤレスドングルのボタンを押す

◎ 2回目以降

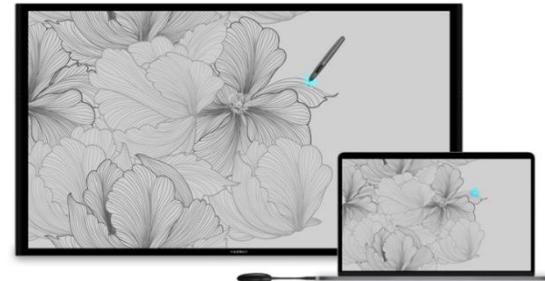


PCにワイヤレスドングルを接続

数秒点滅→点灯に変わる
点灯に変わったら、
ボタンを押す

- ※ 2台以上のPCでワイヤレスドングルを使用する場合…
- 一度押すと割り込み表示
 - 長押しで分割表示

投影完了！



画面投影を終了する場合はワイヤレスドングルをもう一度押してください。

画面投影を終了してから、ワイヤレスドングルをPCから抜いてください。

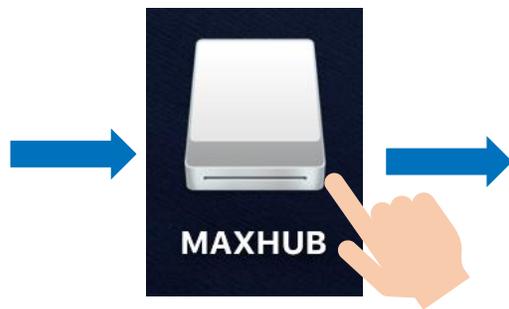
②プレゼンテーション機能

■ PC画面を投影～ワイヤレスドングル (Mac) ～

付属のtype-A変換器を接続した場合は、1回目に下記のインストール作業が必要になります。type-Cのポートで接続した場合は、インストール作業不要です。※PCによってはtype-Cでもインストール作業が必要な場合もあります。



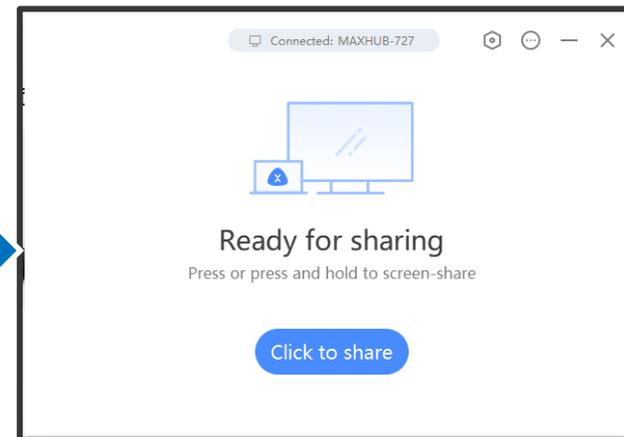
PCにワイヤレスドングルを接続



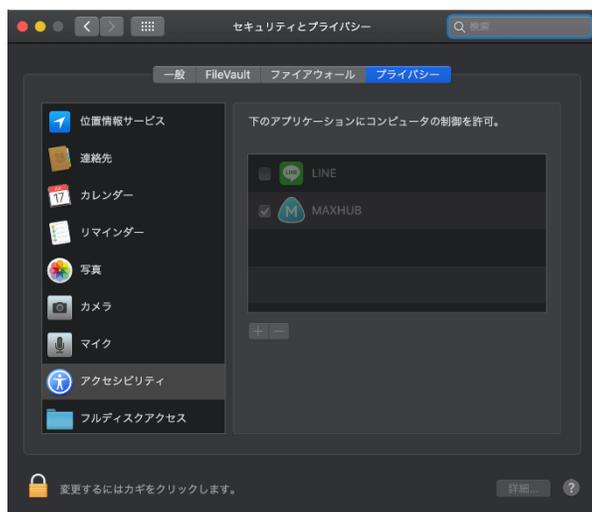
デスクトップのMAXHUBドライブをクリック



MAXHUB.exeを実行
※typeCドングルでは必要ありません



“Click to share”の画面になったらワイヤレスドングルのボタンを押す



「セキュリティとプライバシー」→「アクセシビリティ」にて、「MAXHUB」にチェックを入れる。
※チェックを入れたら、本機からMacを操作できるようになります。

2回目以降の投影方法はWindowsと同じです

②プレゼンテーション機能

■ PC画面を投影～アプリケーション～



左にスワイプ

① <https://www.maxhub.vip/share/>
上記URLからMAXHUB Shareのアプリをインストール

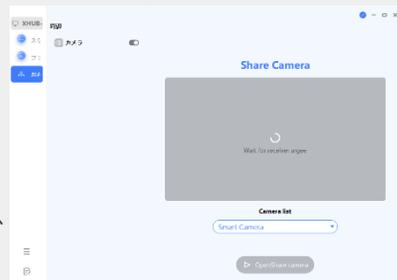


② PCをミーティングボードのWi-Fiに接続

③ デスクトップのアプリをクリックして、コードを入力
※または、「デバイスの近く」で接続

【カメラ共有】を有効にすると、ミーティングボードのカメラをPC上でデバイスとして利用できます。
※PC端末で共有カメラを選択するとディスプレイ右上にリクエストポップアップが出ますので同意をお願いします。

PC版のMAXHUB Shareで、ミーティングボードと接続し、「共有>カメラ」を選択



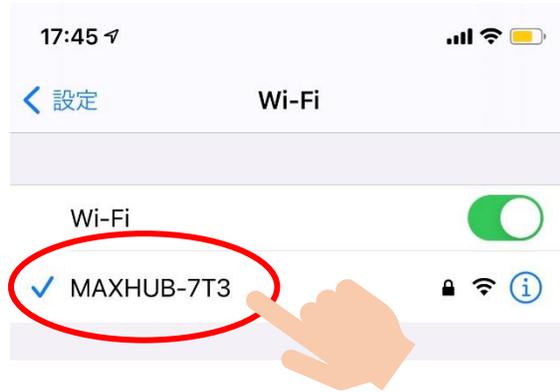
会議アプリのカメラデバイスに"Sharing Camera"が表示されます。



アプリ画面下の【デバイスの近く】から、同一ネットワーク内のミーティングボードを選択すると、コードを入れなくても画面投影ができます。

②プレゼンテーション機能

■ スマートフォン・タブレットの投影～iPhone・iPad～



本機のWi-Fiに接続



画面ミラーリングを選択



投影完了！

本機を選択

③スマートフォン・タブレットの投影～Android～

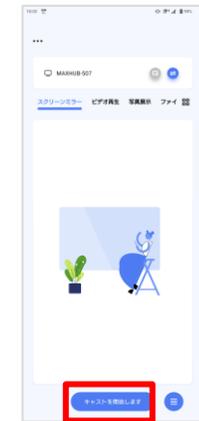


上記からアプリインストール
(MAXHUB screenshare検索でも可能)

Android端末で
本機の
Wi-Fiに接続



アプリ内で上記の接続コードを入力する



投影完了！

【キャストを開始します】
を選択

②プレゼンテーション機能

■ 複数端末を同時投影



“ウィンドウモード”を選択すると、ホワイトボードと一緒に表示できます。

投影方法

- スマートフォン・タブレット
…投影すると自動的に分割になる
- PC (ワイヤレスドングル)
…長押しで分割 (一度押すと、割り込み表示)



②プレゼンテーション機能

- ワイヤレス dongle で PC とミーティングボードを接続すると、双方から操作可能

ミーティングボード画面

例：PowerPointを投影



PCにワイヤレス
dongleを接続。
点灯に変わったら、
ボタンを押す。



PCでの操作はもちろん、ミーティングボード
から操作して書き込みができます！

オリジナルアプリ ③WEB会議機能

③WEB会議機能 (Zoom)

Zoom、Teamsは初期インストールしております。
別のアプリを使用したい場合は、Windowsからインストールしてください。
TOPページアイコンに任意のWEB会議アプリを設定できます (方法は別ページ参照)

◎ Zoom画面



- ① スピーカービュー、ギャラリービューの切り替え
→発言者を表示 →参加者を分割して表示
- ② 全画面表示
- ③ ミュート
- ④ ビデオの停止
- ⑤ 招待
- ⑥ 画面の共有
画面を選択するとミーティングボードの画面全体を共有できる。ペン機能・リモート操作を使用すれば遠隔地から書き込みが可能。
- ⑦ チャット
- ⑧ ブレイクアウトルーム
- ⑨ ミーティングの終了

ZOOMについては、以下URL(外部)をご参照ください
<https://zoom-japan.net/manual/>

③WEB会議機能 (Zoom)

◎ Zoom画面共有方法



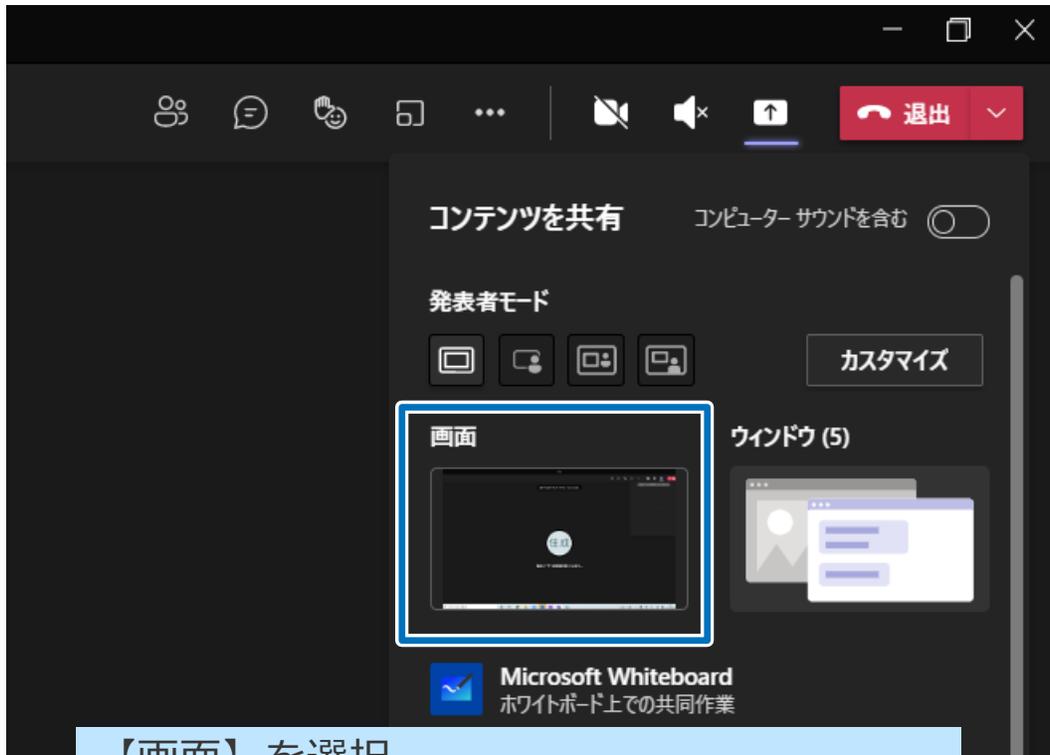
【画面】を選択して、右下の【共有】ボタンをタップ
(ミーティングボードの画面全体を共有)

画面共有後に、ワイヤレスドングルのボタンを押すと、
PCで投影した内容も遠隔地と共有可能になります

③WEB会議機能 (Teams)

Zoom、Teamsは初期インストールしております。
別のアプリを使用したい場合は、Windowsからインストールしてください。
TOPページアイコンに任意のWEB会議アプリを設定できます (方法は別ページ参照)

◎ Teams画面共有方法



【画面】を選択
(ミーティングボードの画面全体を共有)



画面共有後に、ワイヤレス dongle のボタンを押すと、
PCで投影した内容も遠隔地と共有可能になります

本体設定

MAXHUB 本体設定



◎有線LAN設定



◎無線LAN設定



◎ホットスポット設定



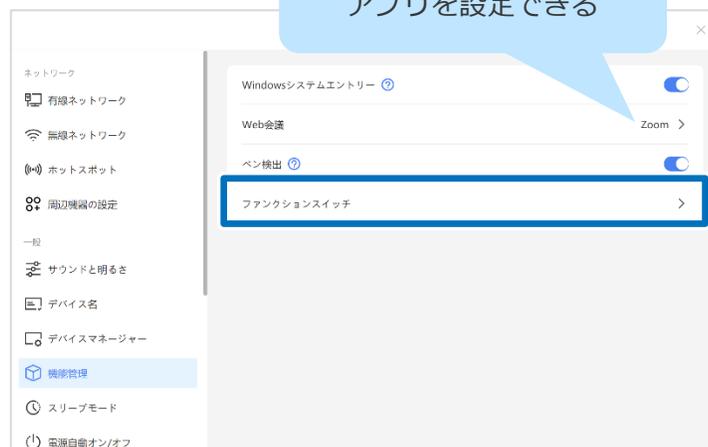
ホットスポットをOnにすると
本機経由でインターネット（社
内LAN）接続制限できる

MAXHUB 本体設定

◎ デバイスマネージャー



◎ 機能管理



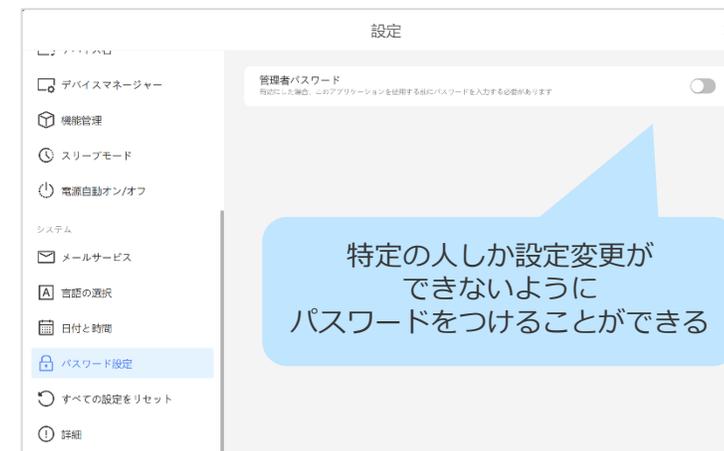
◎ スリープ時間設定



◎ 自動電源ON/OFF設定

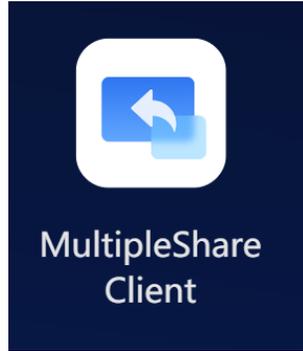


◎ 設定画面パスワード

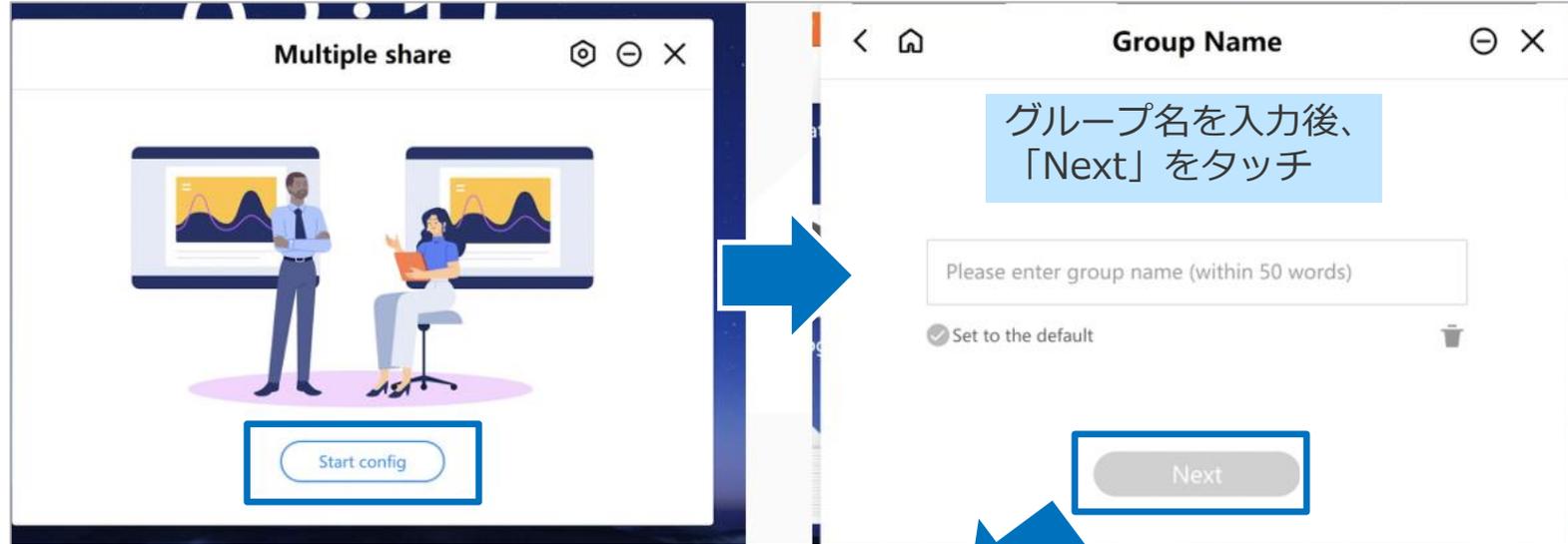


MAXHUB 画面共有

- 新しいアプリ「MultipleShareClient」を使用し、ミーティングボードの画面を同一ネットワーク内に存在する他のミーティングボードに共有



ホストとなるミーティングボードで、“MultipleShareClient”を開く

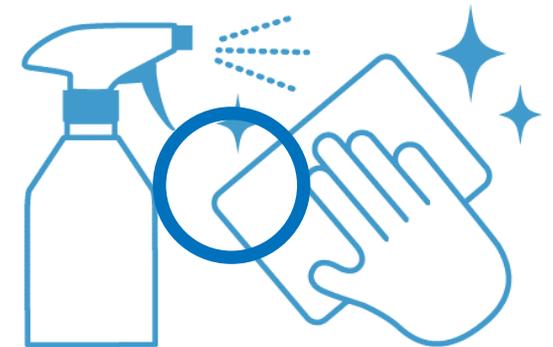


画面共有したいミーティングボードを選択し、「Complete」をタッチするとグループが作成されます。



お手入れ方法

- アルコール除菌などをする場合は、布等にアルコールを吹きかけ、水滴が残らないように拭いてください。液体を直接本体にかけないでください。



本体仕様

機種	型	55型 (CF55FA)	65型 (CF65FA)	75型 (CF75FA)	86型 (CF86FA)
ディスプレイ	パネル	液晶 (DLED)			
	パネルタイプ	IPS			VA
	アスペクト比	16:9			
	ディスプレイサイズ H×V (mm)	1209.6× 680.4	1428.48 × 803.52	1650.24 × 928.26	1895.04 × 1065.96
	解像度	3,840×2,160 (4K)			
	輝度	350cd/m ²			
	表示色	1.07B (10bit)			
視野角	コントラスト	1200:1		5000:1	4000:1
	視野角	左右178度 / 上下178度			
	HDMI入力	1系統			
入力端子	USB Type-A (USB 2.0)	1系統 (側面)			
	USB Type-A (USB 3.0)	2系統 (前面)			
	USB Type-C (USB 3.1)	2系統 (前面×1系統、側面×1系統)			
出力端子	RS232	1系統			
	タッチ信号出力	USB Type-B 2.0 ×1系統			
カメラ	音声出力	ステレオミニジャック×1系統			
	解像度	4800万画素			
マイク	画角	対角画角：99.6度、水平画角：91.9度			
	マイク機能	8マイクアレイ			
音声	集音距離	0~8m			
	スピーカー	10W×2 (8Ω)、20W×1 (ウーハー4Ω)			
ネットワーク	Wi-Fi	802.11 a/b/g/n/ac 対応			
	Wi-Fi動作周波数	2.4GHz, 5GHz 対応			
	MIMO	対応			
	Bluetooth	Version 4.2			
	Bluetooth動作周波数	2.4GHz			
タッチパネル	ホットスポット	ホットスポット機能 同時接続台数8台以下			
	有線接続	LANポート(RJ45)×1系統 1000Mbit/s			
	検出方法	赤外線遮断検出方式			
	タッチポイント	20点マルチタッチ操作			
	映り込み軽減	ガラス表面AG処理			
電源	保護ガラス	強化ガラス (硬度:7H)			
	入力デバイス	タッチペン&指			
	対応OS	Windows10/Windows8/Windows7/Windows XP/Android/Linux/Mac OS X/Chrome			
重量とサイズ	使用電源	100~240V、50/60Hz			
	最大消費電力	300W	350W	400W	400W
	消費電力 (スタンバイ)	≤ 0.5W			
使用環境	NET重量 (kg)	26.3	36.3	48.3	59.8
	GROSS重量 (kg)	34.2	47.8	62.8	77.0
	本体サイズ L×H×D (mm)	1263×776×88	1488×903×88	1709×1026×87	1957×1160×100
	梱包サイズ L×H×W (mm)	1392×847×220	1628×1005×208	1863×1140×225	2110×1283×225
壁掛け金具	温度	0℃~ 40℃			
	湿度	10% ~90%RH (結露なきこと)			
PCモジュール	高度	5,000m以下			
	Model	WIB9060G			
	VESA (mm)	400×200	600×400	800×400	800×600
オプション	ネジ	M8×25mm			
	CPU世代	Intel® Core™ 10th Generation			
	スペック1 (標準)	i5-10400(2.9GHz), DDR4 16GB, M.2 SSD 256GB			
	スペック2 (アップグレードオプション)	i7-10700(2.9GHz), DDR4 16GB, M.2 SSD 256GB			
	GPU	Intel® UHD Graphics 630			
	Audio	Integrated High Definition Audio Stereo			
	OS	Windows 10 IoT Enterprise LTSC 2021(21H2)			
インタフェース	HDMI Out x 1、USB3.0 x 3、USB2.0 x 1、LAN x 1、AUDIO IN x 1				

- 付属品 (同梱)
- タッチペン：2本
 - ワイヤレスドングル：1個
 - 電源コード：3m×1本
 - USB Type-C to Cケーブル：1.8m×1本
 - 使用マニュアル：1枚
 - 保証書：1枚
- オプション
- ペン/ドングル収納箱

ITで働き方改革を支援する

NIMO

ナイスモバイル株式会社

<https://nicemobile.jp/>

* MAXHUBは、中国Guangzhou Shizhen Information Technolgy Co.,Ltd.の中国およびその他の国における登録商標または商標です。

* 本ドキュメント上に記載・表示された社名または商品名などは、各社の登録商標または商標です。なお本文中では、TM、®マークは明記していません。